

小名浜港マリーナに看板を設置しました！

12月28日(木)、小名浜港湾建設事務所では、小名浜港マリーナの砂浜と遊歩道付近の2カ所において、そこに生息する生き物を紹介する看板を設置しました。

浜辺、遊歩道からは、アマモやアラメ、アオサ等の海藻、サラサカジカやタケギンポ等の小さな魚を目にすることができます。

皆さん、小名浜港マリーナの自然に触れてみてはいかがでしょうか？

マリーナの自然

マリーナは、砂地から生えるアマモと、岩場から生える海藻により、豊かな自然が作り出されています。アマモや海藻がたくさんあると、小さな生き物たちの隠れ家になります。また、潮の流れをゆっくりにする働きがあるので、多くの生き物が産卵し、成長することから「海のゆりかご」とも呼ばれています。



アマモ場

アマモは、陸上の植物と同じように根・茎・葉があります。海的环境が悪くなり、アマモは世界的に減っています。アマモは、日本一長い名前をもつ植物で、別名を「リュウグウノツバキ/モトユイ/キリハスシ」(電宮の乙姫の元結いの切り外し)といいます。



藻場

藻場とは海藻がたくさん生えているところです。海藻には根・茎・葉はありません。マリーナに多く生えている海藻は、アラメやアオサで遊歩道から見るすることができます。



福島県小名浜港湾建設事務所
環境水族館
協力 アグアマリンふくしま
平成29年 12月



マリーナ看板の設置状況